

鉄骨系プレハブの中古住宅を、購入後にリフォームした事例である。薄暗かった玄関まわりは明るく開放的になっており、玄関脇の洋室は収納スペースに変更され、外から直接出入りできる物干し場や、子供のピアノの練習スペースなど、面白い空間が生まれている。

リフォーム前後の写真

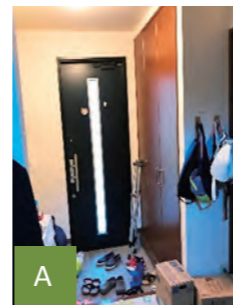


①

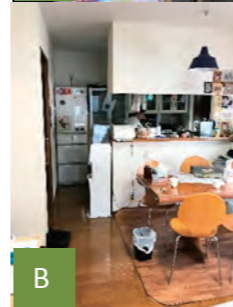
キッチン上部壁をオープンにすることで開放感を確保
ダイニング横には勉強や家事に使用できるカウンターと本棚を造り付けた

リビング出入口近くにある床付近の小さな開口は猫用出入口となっている

リビングと玄関の間仕切壁に明かり窓を設置し、リビングの窓からの明かりが玄関まで届くように計画した



A



B

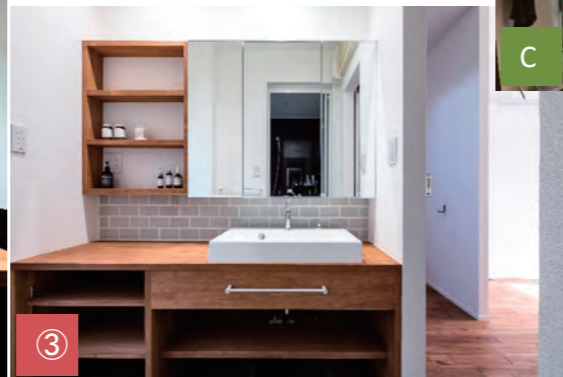


C



②

雑然としていたキッチンバックカウンターは、天然木で収納を作ったり、タイルを壁に貼ることでリビングから見てもきれいな見栄えとなった



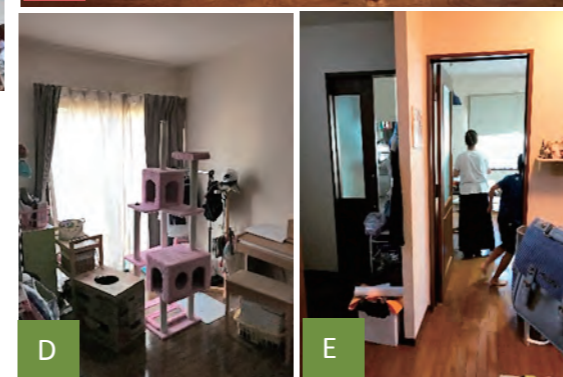
③

物で溢れていた洗面室も、収納豊富な造作洗面台ですっきりとした雰囲気



④

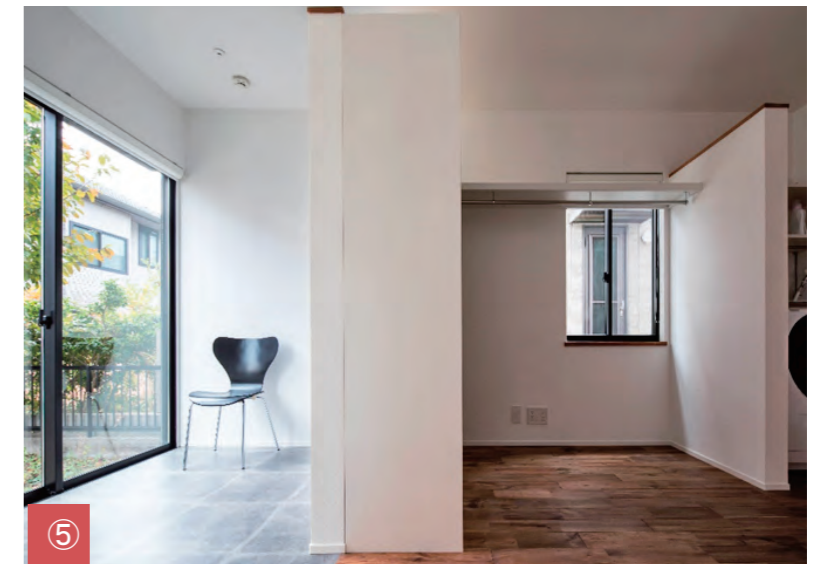
新設した明かり窓以外にも、リビング出入口を透明の大きなガラスにすることでより光や、人の気配を感じることができる



D

間仕切壁のレイアウト変更により、回遊することが出来る動線や、収納量を確保

家事や生活のしやすさを重視した



⑤

玄関から直接出入りできる物干し場や収納に生まれ変わったスペース物干し場の一面にはピアノを置いてお子様が練習される場所としても活用されている



⑥

リフォームの動機／設計・施工の工夫点／施主の感想・満足度／住宅の価値を向上させた内容など

【ご要望】 築20年の中古戸建住宅のご購入にあわせた1階のリフォームで、インテリアの模様替えと、水廻り設備の交換、1室物置になっていた部屋の有効活用を求められた。収納量の向上や、玄関を明るくすることもご要望にあった。

【計画】 既存の間取りは玄関暗かったので、リビングとの間仕切り壁に明り取り窓を設置し、採光を確保するとともに、リビングにしながら家族の動きを感じることができるよう計画。物置化していた洋室は玄関から直接行き来できるよう

オープンにすることで多方面からの動線を確保。仕切って収納物干し場、ピアノ置き場として有効活用できるよう変更した。洗面などの水廻りへのアクセスもしやすいように壁のレイアウトを変更したので、家事動線も使いやすくなっている。ペットの猫用の出入口も確保した。また、ダイニングでお子様の勉強や家事を行うためのカウンターや本棚も設置し、今では本や小物の収納の用途以外にも、猫が上に登ることもあり、猫の遊び場にもなっているとのこと。

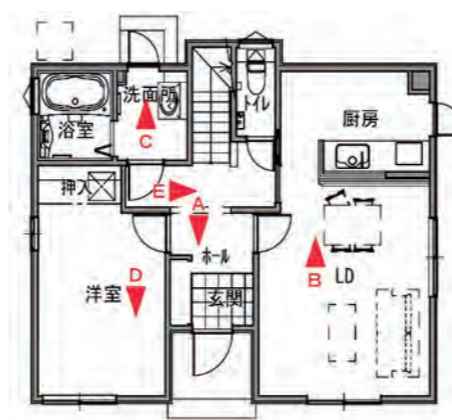
性能向上の特性
室内空気環境、耐久性能、温熱性能

特に配慮した事項
より家事や生活がしやすい動線や、ペットと家族のふれあう場の確保・全体的な室内の明るさや落ち着いた空間の提案

データ

所在地	山口県防府市	新築竣工年	1999年	築後年数	20年	施工期間	30日間
該当工事床面積	62.08㎡	総工事床面積	62.08㎡	該当部分工事費	534万円	総工事費	534万円
居住者構成	65歳以上：0人 / 15～64歳：2人 / 15歳未満：2人 / ペット：2						

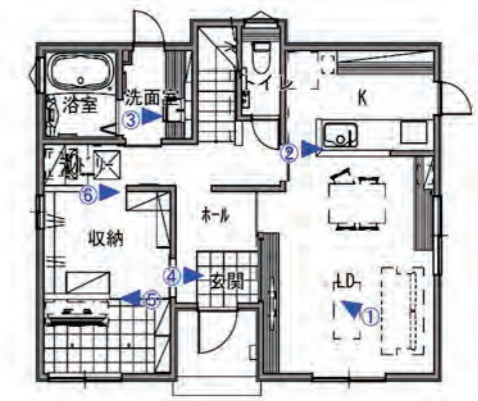
リフォーム前の平面図



1F

S=1/150

リフォーム後の平面図



1F

S=1/150

リフォーム部位： ■居室/ ■台所/ ■浴室/ ■便所/ ■洗面所/ ■廊下/ □階段/ ■玄関/ □インテリア/ □共用部分/ □その他